

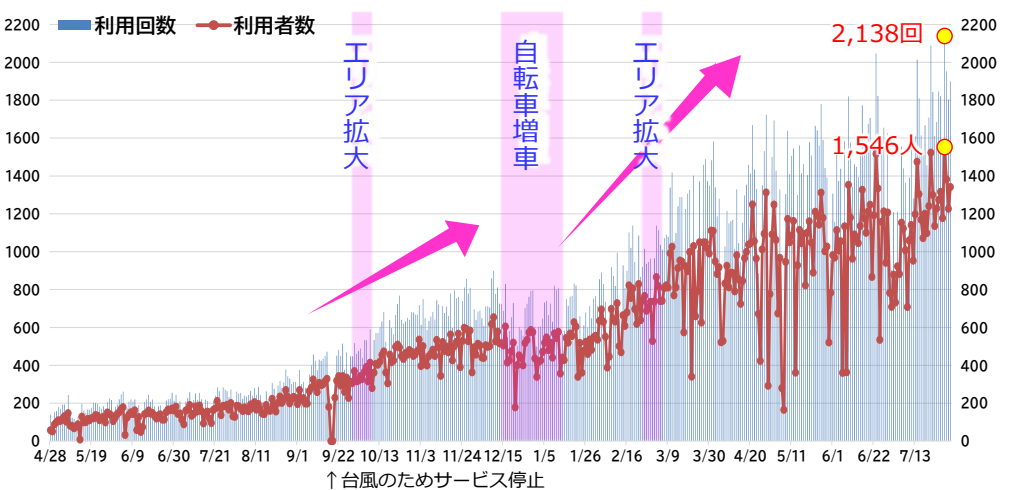
■ 中心市街地の回遊性向上や自家用車から公共交通への転換を目的に実証実験を実施中（R4.4.28～R6.3.31）

■ シェアサイクルが市民の足として定着し、一定の事業効果も確認されたことから、次年度からの“本格導入”に向けて準備を開始する

1. 利用状況

【利用料金】普通自転車：6円/分、電動自転車：15円/分

- **利用回数は当初から9倍以上に増加して好調をキープ**
※利用者数 252,033人、利用回数 343,774回（開始～R5.7.31の460日間）
※日平均548人、747回（最高は1,546人、2,138回 <R5.7.28>）
- **幅広い年齢層の日常の足として「チョイ乗り」が定着**
※平日は通勤時間帯の利用が多く、15分未満の利用が8割以上



2. 課題への対応（インバウンド対応）

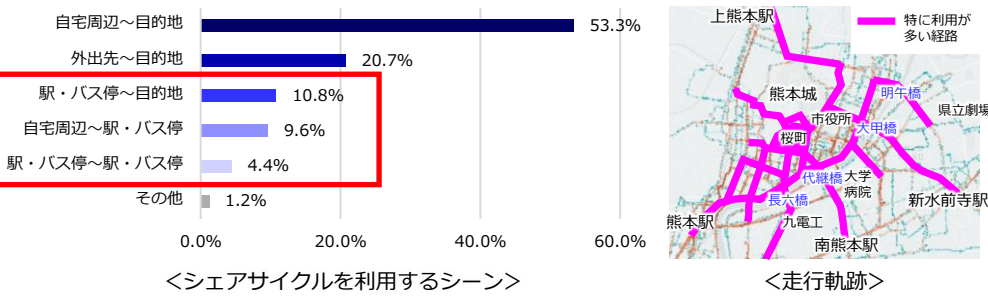
- **7月から日本以外の国際電話番号でも利用可能**
※これまでは日本の国番号（081）を有する電話のみ登録可能であった
※アメリカ、ドイツ、台湾、韓国を含む30の国と地域の国番号で利用可能
- **アプリやチラシでの多言語対応も開始**
※日本の交通ルールやチャリチャリの登録・利用方法（英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語）



＜アプリでの多言語案内＞

3. 事業効果

- 【交通】自動車利用の抑制に一定の効果あり！
※シェアサイクル利用者のうち約2割が車（マイカー、タクシー、レンタカー）からの転換
※交通結節点を結ぶ利用が約2割あり公共交通の利用促進にも寄与
- 【回遊性】街なかの回遊性向上に寄与！
※中心市街地（通町筋・桜町周辺、熊本城、新町・古町、熊本駅周辺）の利用が5割
- 【環境】約32トンのCO2を削減！
※アクアドーム1.7個分の面積（2.9ha）の森林が1年間に吸収する量に相当
- 【健康】約2千万円相当の医療費抑制効果あり！
※自動車等からシェアサイクルへの転換（全体の67.9%）による効果



＜走行軌跡＞

次年度からシェアサイクルの“本格導入”に移行
→事業の透明性・公平性を確保するため、公募により事業者を選定

【今後のスケジュール（案）】

	R5.9	10	11	12	R6.1	2	3	4～
実証実験	ポート増設、自転車増車 エリア拡大							実験終了
本格導入		公募	事業者決定	協定締結	準備			本格導入